

平成30年9月28日

東京都歴史教育研究会
関係者各位

東京都歴史教育研究会会長
東京都立杉並高等学校長 金澤利明
同・見学委員会委員長
東京都立国分寺高等学校副校長 高野修一

東京都歴史教育研究会 秋季史跡見学会のご案内

「山梨県の国宝と甲斐源氏（武田氏）の足跡をたどる」

秋の気配いよいよ濃く、皆様におかれましては、ますます御盛栄のこととお慶び申し上げます。

さて、本会では、平成30年度秋季史跡見学会を企画いたしましたので、ここにご案内いたします。今回は、山梨県の甲斐源氏（武田氏）の足跡を求めて史跡や寺院を見学します。午前中は平安時代の建築である大善寺を訪ね、近藤勇率いる甲陽鎮撫隊が板垣退助率いる新政府軍と戦った柏尾坂古戦場を見学します。その後武田勝頼自刃の地となる景德院を訪ねた後、中世～近世の堤防技術が詳しく理解できる信玄堤関連史跡をめぐる。昼食はほうとう料理で舌鼓を打ち、午後は武田信虎・信玄・勝頼三代の居城となった武田氏館跡の遺構と甲府（甲斐府中）の発展の礎となった中世城下町を見学します。その後、有名な鎌倉時代の源頼朝像がある甲斐善光寺を見学し、信虎・信玄建立の建造物が多数残る大井俣窪八幡神社を經由し、信玄・柳沢吉保の墓や夢窓疎石作の庭園がある恵林寺を訪れます。最後に、「風林火山」で有名な孫子の旗や日本最古の日の丸といわれ甲斐源氏の家宝とされた御旗がある雲峰寺をめぐる。

山に囲まれた山梨県の象徴である甲府盆地は、急流の河川が多数流れ込み、安定した農耕を営むために洪水を中心とした治水・利水対策が求められました。また、現在ではぶどうやももの栽培で恩恵をもたらす扇状地は、背後に防御に適した山があり前方は見晴らしがよい等、城を作ることに適していました。いかに盆地という地形に翻弄され、また利用したのか。地形からわかる甲斐源氏の歴史があります。甲斐源氏（武田氏・柳沢氏）や江戸時代の天領統治から日本中世史・近世史を捉えることで、さらに教材研究を深め授業実践に役立つ見学会を企画しました。秋のお忙しい時期かと存じますが、皆様の参加を心よりお待ちしております。

なお、本見学会は研修出張の扱いにはなりませんのでご了承下さい。

記

- 1 期 日 平成30年11月18日（日） ※雨天決行
- 2 見学地 山梨県甲府市・甲州市・甲斐市・南アルプス市・山梨市
- 3 集 合 午前 8時00分 八王子駅改札外
※集合後、南口サザンスカイトワー前に徒歩移動しバスに乗車
- 解 散 午後 6時45分 八王子駅
※交通事情により遅れることがあります。

4 行 程

〈午前〉八王子駅 → 大善寺 → 柏尾坂古戦場（車窓） → 景德院
→ 石積出・将棋頭・信玄堤公園（信玄堤関連史跡をめぐる）
※「ほうとう小作 双葉バイパス店」でかぼちゃほうとうを用意しております。

〈午後〉武田氏館跡 → 甲斐善光寺 → 大井俣窪八幡神社（時間によってはカット）
→ 恵林寺 → 雲峰寺 → 八王子駅解散（18時45分頃）

5 講 師

○ 田代 孝 氏 （山梨県考古学協会名誉会長）

6 参 加 費 8,500円（貸切バス、見学科、昼食代、資料代、その他雑費）

※参加費は当日お持ち下さい。
当日欠席の場合は、貸切バス及び食事分についてキャンセル料をいただきます。

7 参加申込締切 **平成30年11月9日(金)【必着】**まで

※下記の申込書に記入の上、メールにてご送信下さい。メール送信が難しい方は、申込書記入の上、FAXまたは封書にてご送付ください。なお、バス座席の数に限りがございますので、先着26名様までの受付とさせていただきます。

〈参加申込書送付先〉	
〒120-0001	東京都足立区大谷田2-3-5
	東京都立足立東高等学校 細川 貴之
Eメール	Takayuki_Hosokawa@education.metro.tokyo.jp
FAX	03-5697-0272

8 問い合わせ先 東京都立石神井高等学校 中村 修（電話03-3929-0831）
※当日の連絡先（担当者の携帯電話 090-5546-3509）

.....
東京都立足立東高等学校 細川 貴之 宛 FAX 03-5697-0272

東京都歴史教育研究会 秋季史跡見学会 申込書

ふりがな 氏 名		所 属	
住 所	〒 (写真などの送付に使用させていただきます)		
電 話			
通 信 欄			